

ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第11期

(決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2023年6月13日~2023年12月11日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2018年6月11日~2028年6月9日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>

<2753>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
7 期末(2021年12月10日)	円 10,595	円 0	% △13.7	15,223	% 4.6	% -	% 98.8	百万円 4,017
8 期末(2022年 6 月10日)	8,647	0	△18.4	13,174	△13.5	-	99.0	2,824
9 期末(2022年12月12日)	7,876	0	△ 8.9	12,905	△ 2.0	-	99.0	2,250
10期末(2023年 6 月12日)	8,179	0	3.8	14,035	8.8	-	99.0	2,200
11期末(2023年12月11日)	8,212	100	1.6	14,806	5.5	-	99.1	2,018

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

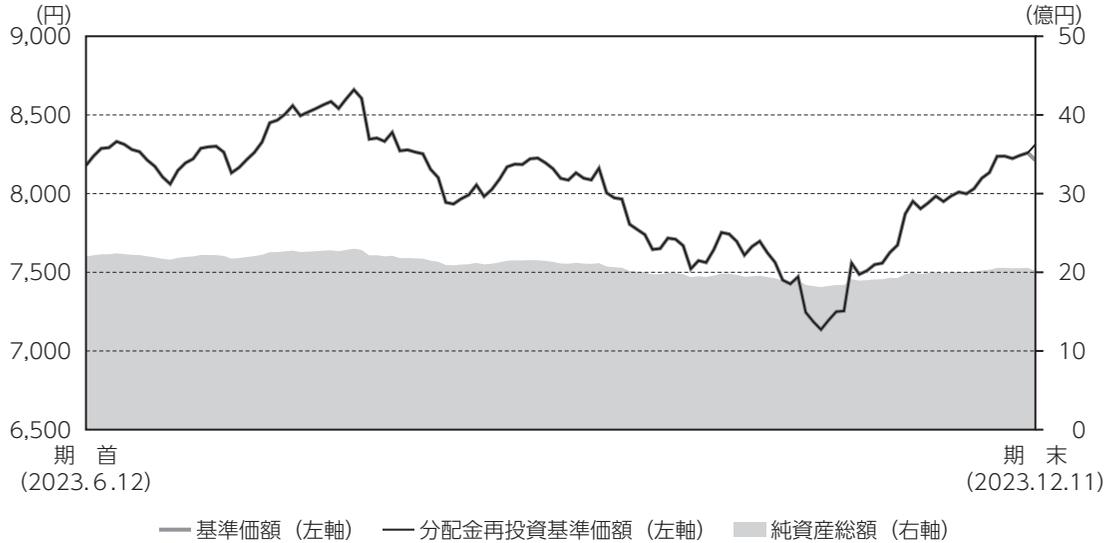
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,179円

期末：8,212円（分配金100円）

騰落率：1.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主として米国や欧州の株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年 6 月12日	円 8,179	% -	14,035	% -	% -	% 99.0
6 月末	8,221	0.5	14,235	1.4	-	99.5
7 月末	8,603	5.2	14,875	6.0	-	99.2
8 月末	8,187	0.1	14,526	3.5	-	99.3
9 月末	7,717	△ 5.6	13,891	△1.0	-	99.0
10月末	7,196	△12.0	13,437	△4.3	-	99.2
11月末	8,098	△ 1.0	14,668	4.5	-	99.2
(期末) 2023年12月11日	8,312	1.6	14,806	5.5	-	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.6.13~2023.12.11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しやインフレ率の鈍化などが好感され、上昇基調で推移しました。2023年8月以降は、米国における国債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから米国の長期金利を主導に世界的に金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。9月には、ECB（欧州中央銀行）理事会で利上げ打ち止めが示唆されたことで、欧州株式の下落幅は相対的に抑えられました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて米国株式、欧州株式ともに大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きは

これからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.6.13~2023.12.11)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

個別銘柄については、プライベート・エクイティからの株式公開買い付けの対象になっていたネットワーク・インターナショナル・ホールディングスや、中国の景気悪化懸念を受けて中国の金融サービスプロバイダーであるルファックス・ホールディングを全売却しました。一方で、IT投資によるデジタル面の高い競争優位性を評価してオーストリアの銀行エアステ・グループ・バンクを新規に組み入れました。

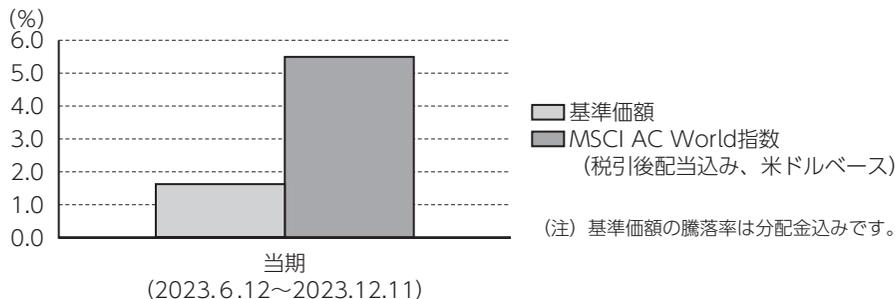
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年6月13日 ～2023年12月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	100
対基準価額比率	(%)	1.20
当期の収益	(円)	-
当期の収益以外	(円)	100
翌期繰越分配対象額	(円)	2,084

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	662.81
(d) 分配準備積立金	✓ 1,521.85
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,184.66
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,084.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023.6.13~2023.12.11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	49円	0.612%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,019円です。
（投 信 会 社）	(15)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.616	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

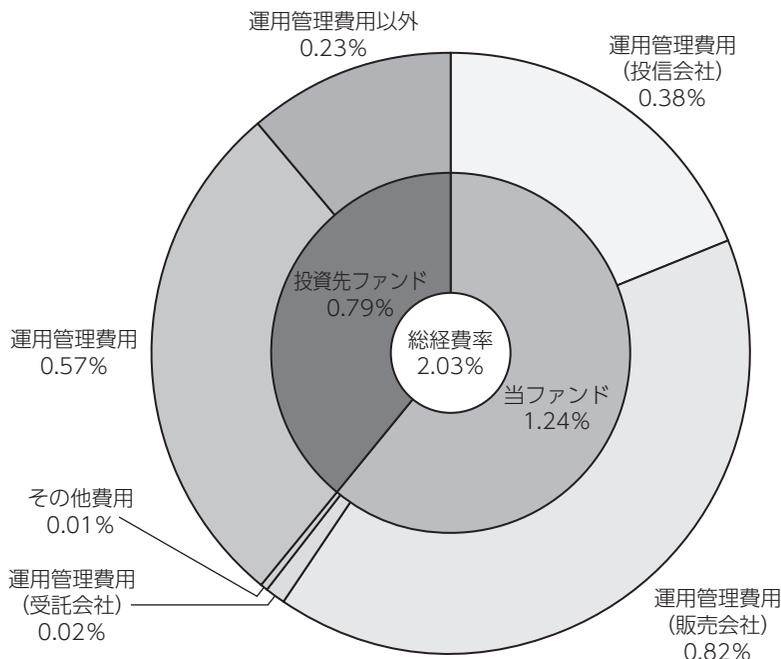
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年6月13日から2023年12月11日まで)

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	千口 -	千円 -	千口 213,207.314	千円 220,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	千口 1,872,022.417	千円 1,999,694	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,999,694	% 95.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	86,776	4.2
投資信託財産総額	2,086,471	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,086,471,821円
コール・ローン等	62,776,478
投資信託受益証券(評価額)	1,999,694,345
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
未収入金	24,000,000
(B) 負債	68,114,956
未払収益分配金	24,579,312
未払解約金	30,688,844
未払信託報酬	12,761,433
その他未払費用	85,367
(C) 純資産総額(A - B)	2,018,356,865
元本	2,457,931,293
次期繰越損益金	△ 439,574,428
(D) 受益権総口数	2,457,931,293口
1万口当り基準価額(C / D)	8,212円

*期首における元本額は2,690,462,717円、当作成期間中における追加設定元本額は4,200,590円、同解約元本額は236,732,014円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は8,212円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は439,574,428円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月13日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,652円
受取利息	310
支払利息	△ 4,962
(B) 有価証券売買損益	45,597,717
売買益	51,364,673
売買損	△ 5,766,956
(C) 信託報酬等	△ 12,846,800
(D) 当期損益金(A + B + C)	32,746,265
(E) 前期繰越損益金	△600,268,288
(F) 追加信託差損益金	152,526,907
(配当等相当額)	(162,914,244)
(売買損益相当額)	(△ 10,387,337)
(G) 合計(D + E + F)	△414,995,116
(H) 収益分配金	△ 24,579,312
次期繰越損益金(G + H)	△439,574,428
追加信託差損益金	152,526,907
(配当等相当額)	(162,914,244)
(売買損益相当額)	(△ 10,387,337)
分配準備積立金	349,482,685
繰越損益金	△941,584,020

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	162,914,244
(d) 分配準備積立金	374,061,997
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	536,976,241
(f) 分配金	24,579,312
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	512,396,929
(h) 受益権総口数	2,457,931,293口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
7 期末(2021年12月10日)	円 11,070	円 0	% △12.4	15,788	% 8.3	% -	% 99.2	百万円 24,052
8 期末(2022年 6 月10日)	10,480	0	△ 5.3	16,162	2.4	-	99.1	18,709
9 期末(2022年12月12日)	9,860	0	△ 5.9	16,131	△ 0.2	-	99.0	15,360
10期末(2023年 6 月12日)	10,784	0	9.4	17,886	10.9	-	99.4	14,749
11期末(2023年12月11日)	10,935	850	9.3	19,677	10.0	-	99.1	13,230

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

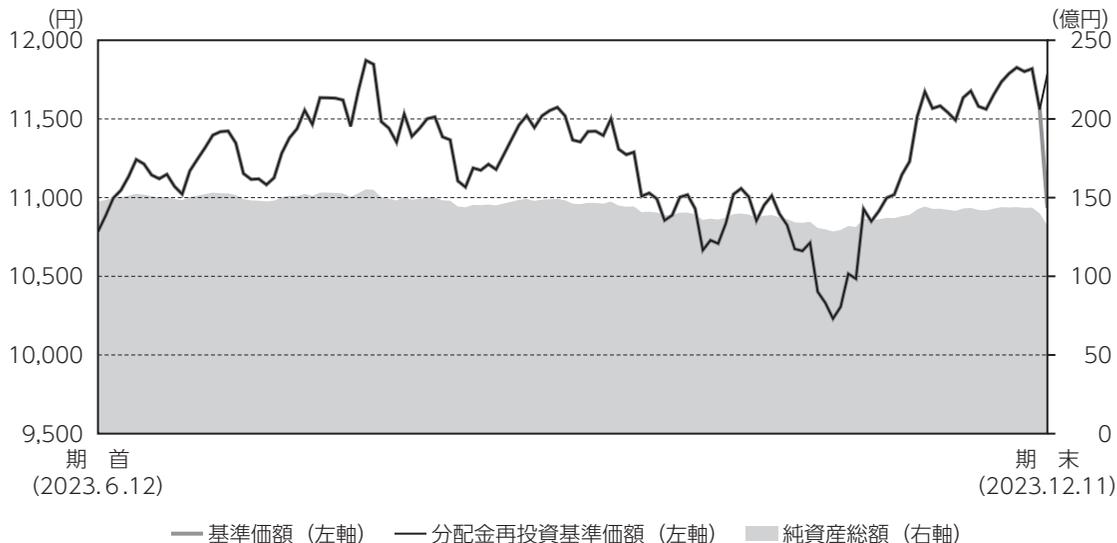
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,784円

期末：10,935円（分配金850円）

騰落率：9.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として、米国や欧州の株式市況が上昇したことに加え、米ドルやユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年 6月12日	円 10,784	% -	17,886	% -	% -	% 99.4
6 月末	11,318	5.0	18,865	5.5	-	99.3
7 月末	11,678	8.3	19,166	7.2	-	99.5
8 月末	11,521	6.8	19,410	8.5	-	99.4
9 月末	11,003	2.0	18,991	6.2	-	99.1
10月末	10,306	△4.4	18,362	2.7	-	99.5
11月末	11,655	8.1	19,718	10.2	-	99.1
(期末) 2023年12月11日	11,785	9.3	19,677	10.0	-	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.6.13~2023.12.11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しやインフレ率の鈍化などが好感され、上昇基調で推移しました。2023年8月以降は、米国における国債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから米国の長期金利を主導に世界的に金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。

9月には、ECB（欧州中央銀行）理事会で利上げ打ち止めが示唆されたことで、欧州株式の下落幅は相対的に抑えられました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて米国株式、欧州株式ともに大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。

株価指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

■為替相場

為替相場は、米ドルおよびユーロともに対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年6月末にかけて上昇しました。しかし7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。しかし当作成期末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落しました。

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

ユーロ対円為替相場は、当作成期首より2023年11月中旬ごろまでは欧州圏の金利上昇に伴い上昇基調で推移しましたが、当作成期末にかけては欧州圏での急速な金利低下を背景に下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.6.13~2023.12.11)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

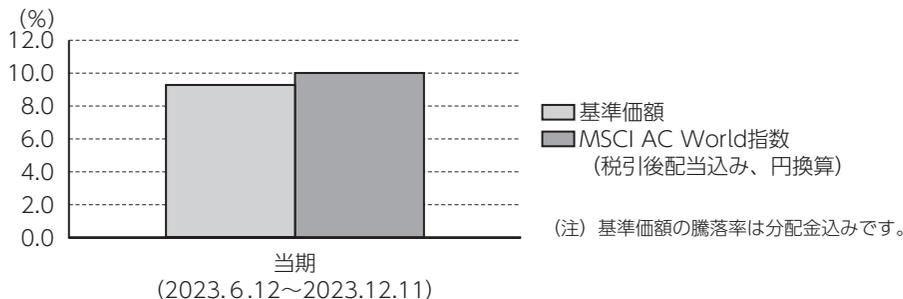
個別銘柄については、プライベート・エクイティからの株式公開買い付けの対象になっていたネットワーク・インターナショナル・ホールディングスや、中国の景気悪化懸念を受けて中国の金融サービスプロバイダーであるルファックス・ホールディングを全売却しました。一方で、IT投資によるデジタル面の高い競争優位性を評価してオーストリアの銀行エアステ・グループ・バンクを新規に組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年6月13日 ～2023年12月11日	
当期分配金（税込み） (円)		850
対基準価額比率 (%)		7.21
当期の収益 (円)		-
当期の収益以外 (円)		850
翌期繰越分配対象額 (円)		1,770

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	331.89
(d) 分配準備積立金	✓ 2,288.75
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,620.64
(f) 分配金	850.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,770.64

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.6.13~2023.12.11)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.612%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,234円です。
（投信会社）	(22)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(46)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	69	0.617	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

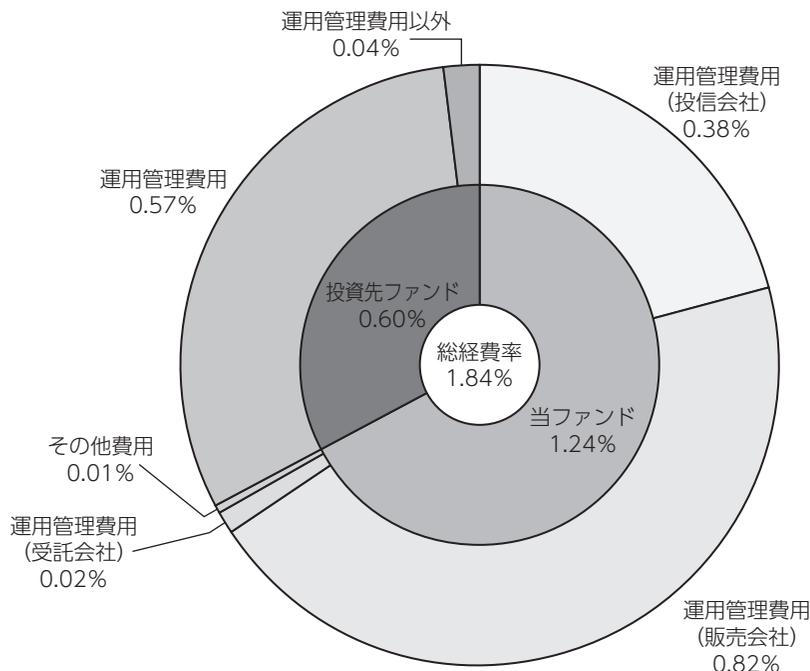
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率 (①+②+③)	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2023年6月13日から2023年12月11日まで）

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 -	千円 -	千口 1,964,214.561	千円 2,920,000

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 8,563,210.13	千円 13,108,562	% 99.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 13,108,562	% 90.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	1,313,348	9.1
投資信託財産総額	14,421,911	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,421,911,604円
コール・ローン等	1,313,348,539
投資信託受益証券(評価額)	13,108,562,067
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	1,191,188,293
未払収益分配金	1,028,464,546
未払解約金	73,645,013
未払信託報酬	88,486,279
その他未払費用	592,455
(C) 純資産総額(A - B)	13,230,723,311
元本	12,099,582,901
次期繰越損益金	1,131,140,410
(D) 受益権総口数	12,099,582,901口
1万口当り基準価額(C/D)	10,935円

*期首における元本額は13,676,955,024円、当作成期間中における追加設定元本額は22,042,537円、同解約元本額は1,599,414,660円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,935円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月13日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 32,866円
受取利息	2,489
支払利息	△ 35,355
(B) 有価証券売買損益	1,298,578,109
売買益	1,378,195,569
売買損	△ 79,617,460
(C) 信託報酬等	△ 89,078,734
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,209,466,509
(E) 前期繰越損益金	580,975,996
(F) 追加信託差損益金	369,162,451
(配当等相当額)	(401,573,468)
(売買損益相当額)	(△ 32,411,017)
(G) 合計(D + E + F)	2,159,604,956
(H) 収益分配金	△1,028,464,546
次期繰越損益金(G + H)	1,131,140,410
追加信託差損益金	369,162,451
(配当等相当額)	(401,573,468)
(売買損益相当額)	(△ 32,411,017)
分配準備積立金	1,740,832,871
繰越損益金	△ 978,854,912

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	401,573,468
(d) 分配準備積立金	2,769,297,417
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,170,870,885
(f) 分配金	1,028,464,546
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,142,406,339
(h) 受益権総口数	12,099,582,901口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

850円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

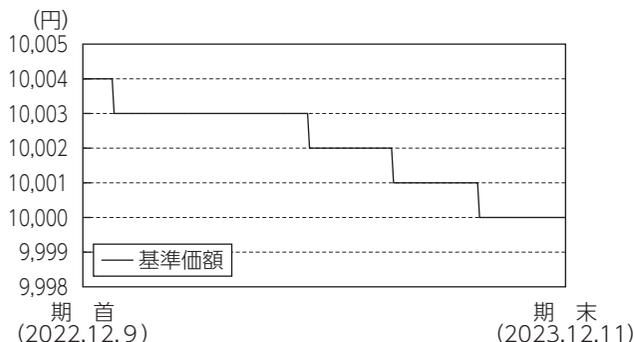
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
12月末	10,004	-	-
2023年1月末	10,004	0.0	-
2月末	10,003	△0.0	-
3月末	10,003	△0.0	-
4月末	10,003	△0.0	-
5月末	10,003	△0.0	-
6月末	10,002	△0.0	-
7月末	10,002	△0.0	-
8月末	10,001	△0.0	-
9月末	10,001	△0.0	-
10月末	10,000	△0.0	-
11月末	10,000	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,000	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,004円 期末：10,000円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 224,869,425	% 100.0
投資信託財産総額	224,869,425	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	224,869,425,628円
コール・ローン等	224,869,425,628
(B) 負債	1,500,000,000
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	223,369,425,628
元本	223,366,515,143
次期繰越損益金	2,910,485
(D) 受益権総口数	223,366,515,143口
1万口当り基準価額(C / D)	10,000円

* 期首における元本額は159,095,941,234円、当作成期間中における追加設定元本額は314,669,316,126円、同解約元本額は250,398,742,217円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

- ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック 947,268円
- ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド - インドの匠 29,910,270円
- ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円
- ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円
- US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円
- ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円
- ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) (為替ヘッジあり) 3,985円
- i Freeレバレッジ S & P 500 8,578,400,572円
- i Freeレバレッジ NASDAQ100 136,597,495,537円
- クリーンテック株式ファンド (資産成長型) 998,802円
- ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円
- 世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 499,501円
- i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス 3,766,275,979円
- i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス 7,383,524,817円
- i FreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数 1,207,970,593円
- i FreeETF TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数 926,253,680円
- i FreeETF 日経平均インバース・インデックス 8,758,653,432円
- i FreeETF TOPIXインバース (-1倍) 指数 11,471,375,420円
- i FreeETF JPX日経400レバレッジ・インデックス 788,263,236円
- i FreeETF JPX日経400インバース・インデックス 114,002,117円
- i FreeETF JPX日経400ダブルインバース・インデックス 78,926,070円
- i FreeETF S & P 500レバレッジ 556,085,029円
- i FreeETF S & P 500インバース 2,883,612,458円
- 先進国トータルリターン戦略ファンド (リス抑制型/適格機関投資家専用) 207,414,601円
- ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - SLトレード 4,992,083円
- ブルベア・マネー・ポートフォリオ6 25,460,730,955円
- ブル3倍日本株ポートフォリオ6 11,487,636,953円
- ベア2倍日本株ポートフォリオ6 3,017,601,716円
- ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ 44,637,919円
- ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円
- ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円
- ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円
- ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド 4,148円
- 通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース 10,833円
- 通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース 10,788円
- 通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース 12,751円
- ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) 100,588円
- ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド 5,813円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△69,335,817円
支払利息	△69,335,817
(B) 当期損益金(A)	△69,335,817
(C) 前期繰越損益金	62,057,963
(D) 解約差損益金	△51,876,027
(E) 追加信託差損益金	62,064,366
(F) 合計(B + C + D + E)	2,910,485
次期繰越損益金(F)	2,910,485

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2050年7月15日まで	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。</p> <p>※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>
	<p>3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	<p>4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
マザーファンドの運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p>	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	<p>①分配対象額の範囲内は繰越分を含めた利益、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。</p> <p>②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし／為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第11期（決算日 2023年11月10日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第11期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白田1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》

電話番号：03-5447-3160

受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
7期(2021年11月10日)	14,914	0	△ 3.3	94.9	36,608
8期(2022年5月10日)	12,249	0	△17.9	95.8	23,855
9期(2022年11月10日)	13,054	0	6.6	96.5	22,412
10期(2023年5月10日)	13,371	0	2.4	96.6	20,881
11期(2023年11月10日)	14,296	0	6.9	94.7	19,189

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2023年5月10日	13,371	—	96.6
5月末	13,577	1.5	95.8
6月末	14,623	9.4	94.4
7月末	15,107	13.0	95.1
8月末	14,916	11.6	94.6
9月末	14,256	6.6	95.1
10月末	13,361	△ 0.1	94.8
(期末) 2023年11月10日	14,296	6.9	94.7

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金込み	期騰落中率		
	円	円	%	%	百万円
7期(2021年11月10日)	14,139	0	△ 5.9	93.6	4,390
8期(2022年5月10日)	10,393	0	△26.5	95.1	2,727
9期(2022年11月10日)	9,889	0	△ 4.8	95.3	2,250
10期(2023年5月10日)	10,327	0	4.4	97.3	2,207
11期(2023年11月10日)	9,695	0	△ 6.1	96.0	1,894

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2023年5月10日	円	%	%
5月末	10,214	△ 1.1	96.1
6月末	10,506	1.7	95.1
7月末	11,010	6.6	94.1
8月末	10,483	1.5	94.8
9月末	9,888	△ 4.3	95.5
10月末	9,225	△10.7	93.8
(期末) 2023年11月10日	9,695	△ 6.1	96.0

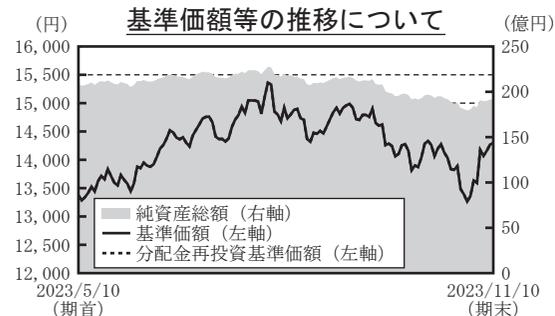
(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2023年5月11日～2023年11月10日）

為替ヘッジなし

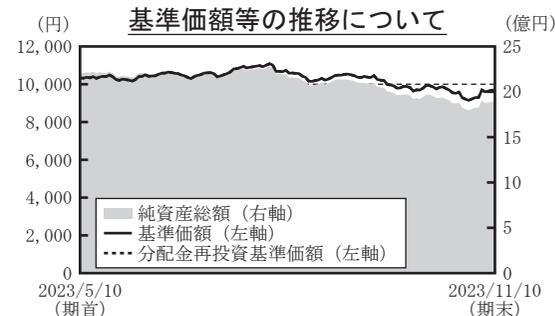


期首：13,371円

期末：14,296円（既払分配金0円）

騰落率：6.9%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期首：10,327円

期末：9,695円（既払分配金0円）

騰落率：△6.1%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、米国以外のグローバル株式市場が全般的に下落する中、為替市場で主として米ドルやユーロに対して円安が進行したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

○為替ヘッジあり

当期は、主に欧州や日本の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、期初より欧州および日本を除くアジア太平洋地域がドル高の影響により悪化したため下落しました。6月に入ると一転して、米国債務上限問題の解決、銀行経営危機の収束、米国の利上げ停止（あるいは一時停止）などの好材料が相まって株価は上昇しました。7月も特に北米の経済が予想以上に底堅い成長を示したことや、良好な2023年4－6月期の企業決算発表などにより堅調に推移しました。8月に入ると前月の上昇から反転して、マクロ経済の不透明感が投資家心理に影響したことから下落し、9月も米連邦準備理事会（FRB）の「タカ派的な利上げ一時停止」の発表により下押し圧力が強まったことや、投資家のソフトランディングを軸としたシナリオが楽観的すぎるように見え始めたことが要因となり続落しました。10月に入るとイスラエルとハマスの対立が再燃し、中東の緊張が極度に高まったことや、中国の需要減による日本の経済活動の低下など不確実な状況の中で引き続き下落しましたが、期を通して上昇しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は135円台から期末には151円台となり、ユーロ・円レートは期初の148円台から期末には161円台となりました。

当期は、米ドルは日米金利差が意識されたことから、ユーロはインフレ圧力が続く中、欧州中央銀行（ECB）が7月に9会合連続で利上げを決定し、金融引き締め姿勢を継続する可能性があることなどから米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からフィネコバンク・パンカ・フィネコやネクシィなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、中国の金融サービスプロバイダーLufax Holdingの株式を中国市場の反発を捉えて全売却しました。政府による追加景気刺激策の話が出ているにも関わらず、中国が今年後半にはデフレに陥る可能性があるとの見方が強まっているためです。この売却代金を用いて、オーストリアの銀行エアステ・グループ・バンクを新たに組み入れました。同社は預金業務やコーポレートバンキング、および投資銀行業務に従事しており、長年にわたるIT投資により同地域でデジタル面の高い競争優位性を保っています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第11期
		2023年5月11日～2023年11月10日
当期分配金		—
(対基準価額比率)		—%
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		5,714

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第11期	
		2023年5月11日～2023年11月10日	
当期分配金		—	
	（対基準価額比率）	—%	
	当期の収益	—	
	当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額		5,212	

- （注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
 （注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 （注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年5月11日～2023年11月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.288%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,311円です。
（投 信 会 社）	(40)	(0.277)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0.021)	
そ の 他 費 用	3	0.018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.015)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	47	0.327	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2023年5月11日～2023年11月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	67,380	100,000	2,242,295	3,300,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2023年5月11日～2023年11月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	7,170,508千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	21,729,502千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.32

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年5月11日～2023年11月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年5月11日～2023年11月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2023年11月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 15,166,905	千口 12,991,990	千円 19,143,697

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2023年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	19,143,697	99.4
コール・ローン等、その他	106,227	0.6
投資信託財産総額	19,249,925	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（20,619,064千円）の投資信託財産総額（21,057,103千円）に対する比率は、97.9%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=151.43円、1香港ドル=19.39円、1シンガポールドル=111.34円、1英ポンド=185.08円、1スウェーデンクローナ=13.87円、1メキシコペソ=8.52円、100インドネシアルピア=0.97円、1ブラジルリアル=30.635円、1南アフリカランド=8.12円、1ユーロ=161.56円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	19,249,925,363円
コール・ローン等	106,227,586
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	19,143,697,777
(B) 負 債	60,602,469
未払信託報酬	60,065,072
その他未払費用	537,397
(C) 純資産総額(A-B)	19,189,322,894
元 本	13,422,749,964
次期繰越損益金	5,766,572,930
(D) 受益権総口数	13,422,749,964口
1万口当り基準価額(C/D)	14,296円

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 期首元本額 | 15,617,138,425円 |
| 期中追加設定元本額 | 69,304,873円 |
| 期中一部解約元本額 | 2,263,693,334円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1.4296円 |

■損益の状況

当期(自 2023年5月11日 至 2023年11月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 32,883円
受 取 利 息	3,003
支 払 利 息	△ 35,886
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,296,422,112
売 買 益	1,498,483,572
売 買 損	△ 202,061,460
(C) 信 託 報 酬 等	△ 60,614,528
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,235,774,701
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,314,281,089
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,216,517,140
(配 当 等 相 当 額)	(977,770,221)
(売 買 損 益 相 当 額)	(238,746,919)
(G) 計 (D+E+F)	5,766,572,930
次 期 繰 越 損 益 金(G)	5,766,572,930
追 加 信 託 差 損 益 金	1,216,517,140
(配 当 等 相 当 額)	(978,031,793)
(売 買 損 益 相 当 額)	(238,485,347)
分 配 準 備 積 立 金	6,454,120,409
繰 越 損 益 金	△1,904,064,619

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(190,730,066円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,216,517,140円)および分配準備積立金(6,263,390,343円)より分配対象収益は7,670,637,549円(10,000口当たり5,714.65円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年5月11日～2023年11月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.288%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,279円です。
（投 信 会 社）	(28)	(0.276)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.021)	
そ の 他 費 用	12	0.115	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(10)	(0.100)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.015)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	44	0.425	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2023年5月11日～2023年11月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	315,539	460,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2023年5月11日～2023年11月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	7,170,508千円	
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	21,729,502千円	
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.32	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年5月11日～2023年11月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年5月11日～2023年11月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2023年11月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 1,614,297	千口 1,298,758	千口 1,913,720	千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2023年11月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,913,720	99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	15,915	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,929,636	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（20,619,064千円）の投資信託財産総額（21,057,103千円）に対する比率は、97.9%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=151.43円、1香港ドル=19.39円、1シンガポールドル=111.34円、1英ポンド=185.08円、1スウェーデンクローナ=13.87円、1メキシコペソ=8.52円、100インドネシアルピア=0.97円、1ブラジルレアル=30.635円、1南アフリカランド=8.12円、1ユーロ=161.56円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2023年11月10日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,720,146,074円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,492,877
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	1,913,720,800
未 収 入 金	1,790,932,397
(B) 負 債	1,826,118,195
未 払 金	1,817,961,878
未 払 信 託 報 酬	6,058,980
そ の 他 未 払 費 用	2,097,337
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,894,027,879
元 本	1,953,655,663
次 期 繰 越 損 益 金	△ 59,627,784
(D) 受 益 権 総 口 数	1,953,655,663口
1万口当り基準価額(C/D)	9,695円

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 期首元本額 | 2,137,095,633円 |
| 期中追加設定元本額 | －円 |
| 期中一部解約元本額 | 183,439,970円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 0.9695円 |

■損益の状況

当期（自 2023年5月11日 至 2023年11月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 6,427円
受 取 利 息	318
支 払 利 息	△ 6,745
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 116,093,953
売 買 益	194,617,073
売 買 損	△ 310,711,026
(C) 先 物 取 引 等 損 益	718,202
取 引 益	8,176,443
取 引 損	△ 7,458,241
(D) 信 託 報 酬 等	△ 8,164,414
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 123,546,592
(F) 前期繰越損益金	△ 115,244,861
(G) 追加信託差損益金	179,163,669
(配 当 等 相 当 額)	(204,661,397)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 25,497,728)
(H) 計 (E+F+G)	△ 59,627,784
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 59,627,784
追 加 信 託 差 損 益 金	179,163,669
(配 当 等 相 当 額)	(204,661,397)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 25,497,728)
分 配 準 備 積 立 金	813,626,704
繰 越 損 益 金	△1,052,418,157

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（12,652,499円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（204,661,397円）および分配準備積立金（800,974,205円）より分配対象収益は1,018,288,101円（10,000口当たり5,212.22円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日：2023年5月10日）

（計算期間 2022年5月11日～2023年5月10日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	純資産額
		騰落	中率		
(設定日) 2018年6月12日	円		%	%	百万円
	10,000	—		—	20,485
1期(2019年5月10日)	10,402	4.0		96.6	97,351
2期(2020年5月11日)	10,478	0.7		94.3	56,348
3期(2021年5月10日)	15,656	49.4		96.1	56,035
4期(2022年5月10日)	12,508	△20.1		95.9	26,535
5期(2023年5月10日)	13,737	9.8		96.8	23,051

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

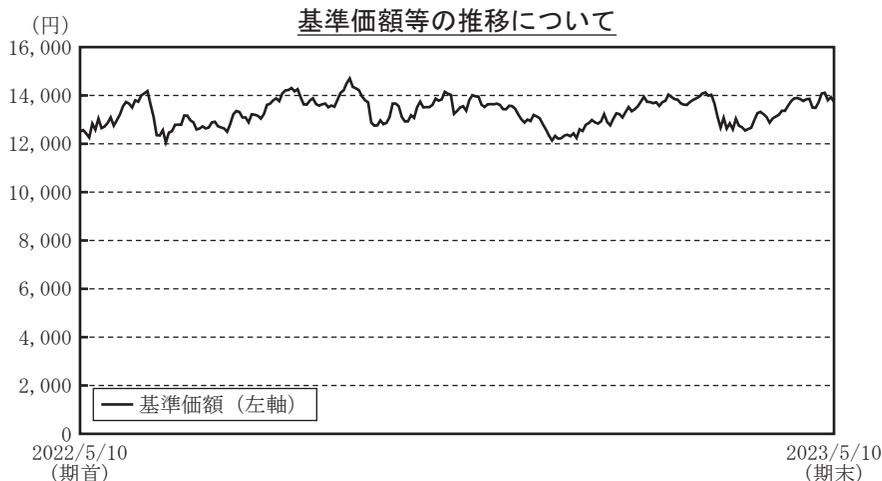
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準	価額		株組入比率
		騰落	率	
(期首) 2022年5月10日	円		%	%
	12,508	—		95.9
5月末	13,731	9.8		96.6
6月末	12,888	3.0		95.8
7月末	13,203	5.6		96.5
8月末	13,634	9.0		95.8
9月末	12,810	2.4		97.2
10月末	14,150	13.1		97.5
11月末	13,429	7.4		93.3
12月末	12,431	△0.6		96.4
2023年1月末	13,346	6.7		95.1
2月末	13,728	9.8		94.4
3月末	13,265	6.1		95.7
4月末	13,724	9.7		96.9
(期末) 2023年5月10日	13,737	9.8		96.8

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況 (2022年5月11日～2023年5月10日)



【基準価額の主な変動要因】

当期は、欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初よりロシアのウクライナ侵攻による地政学的動向とエネルギー価格高騰への懸念が、市場心理を左右する展開となりました。また、中国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するロックダウン(都市封鎖)は、引き続き世界のサプライチェーン混乱による供給不足を一層深刻にさせインフレ圧力に拍車をかけました。7月に入ると、景気が減速する中今後インフレが抑制され、利上げペースが緩和されることへの期待感から株価は大きく上昇しましたが、8月に米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長がジャクソンホール会合で利上げを継続する姿勢を鮮明にしたため下落に転じました。9月に入るとFRBが6月、7月に続き3会合連続で0.75%の政策金利引き上げを発表したことにより株価は引き続き下落しました。10月に入ると2022年7-9月期決算報告で一部の大手テクノロジー企業が市場予想を下回る業績を発表したにも関わらず株式市場は好調で株価は上昇しました。11月も経済指標が回復したことや、米連邦準備理事会(FRB)による政策金利75bpsの引き上げに対しても将来を見越した声明は以前のタカ派的な発言よりも調和が取れていると好感されて、引き続き堅調に推移しました。12月に入ると前月の上昇から反転して下落しましたが、2023年に入ると中国の経済再開が急速に進み景気回復への期待が高まったことや、欧米経済のソフトランディング(安定成長への移行)への可能性が高まっていることを示すデータが相次いだことで株式市場は活気づき1月以降は再び上昇基調になりました。しかしながら、3月に米テクノロジー企業への融資で知られるシリコンバレーバンク(SVB)が経営破綻した影響を受けて株価は下落しました。4月以降は経済と地政学に係るさまざまなニュースから強弱入り混じった影響を受けたものの、大手テクノロジー企業の好調な2023年1-3月期の決算報告が好感されて株価は上昇しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は130円台から期末には135円台となり、ユーロ・円レートは期初の137円台から期末には148円台となりました。

当期は、米ドルは日銀の金融政策のさらなる修正観測や米銀行問題に伴う懸念などから後半にかけて円高が進行したものの期を通じて円安になり、ユーロはサプライチェーン混乱による供給不足やエネルギー不足へ対する懸念が後退したことなどから円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からネクシィやネットワーク・インターナショナル・ホールディングスなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、ノルウェーのデジタルバンクであるスバンケンを統合することによりさらなるデジタル技術の向上が見込まれるだけでなく、ノルウェーの金利上昇とエネルギー価格高騰からの恩恵を受けている同じくノルウェーのDNBバンクを新たに組み入れました。また、市場の下落局面を利用してイスラエルのセキュリティ会社サイバーアーク・ソフトウェアとイギリスのソフトウェア開発会社GBグループを新たに組み入れました。サイバーアーク・ソフトウェアは高度なサイバー・セキュリティ・ソリューションを、GBグループは必要不可欠なID認証ソフトウェア・ソリューションをそれぞれ提供しており、当面の間強い需要が見込まれます。一方で、米国の資産運用会社ブラックロックを全売却しました。同社が資産運用業界において長期的な成功を収めていることは事実ですが、当社は資産市場の低迷、過去12ヵ月間のファンドパフォーマンスの低下や金利が安定するまで資金流入が期待できない可能性を勘案し、今後2年間の運用環境がより厳しいものになることを懸念しポジションを全売却しました。後半は、グローバルなオンライン決済を提供する米国の金融サービス企業ペイオニア・グローバル、デジタル戦略でメキシコ最大の銀行BBVAとの差を縮めたメキシコの大手銀行バノルテ銀行を新たに組み入れました。また、米越境EC事業者のニーズに合わせて設計されたビジネス・プラットフォームを介し、オンライン送金やデジタル決済サービスを提供する米国のソフトウェア・ソリューション・プロバイダーのペイコム・ソフトウェアを新たに組み入れました。一方で、ボラティリティの上昇により低迷している仮想通貨取引の影響を受けた米国の金融サービス企業ブロックを一部売却し、金利の影響を強く受ける米国の銀行バンコプとノルウェーの銀行DNBを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8円 (8)	0.061% (0.061)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	7 (7)	0.052 (0.052)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	15	0.113	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額 (13,324円) で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2022年5月11日～2023年5月10日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株 15.2	千円 165,434	千株 2.4	千円 28,487
	外	百株 14,577.87 (115.1)	千米ドル 33,230	百株 10,580.42	千米ドル 66,036
	香 港	—	千香港ドル —	3,034.28	千香港ドル 40,292
	シ ン ガ ポ ー ル	52	千シンガポールドル 171	346	千シンガポールドル 1,101
	イ ギ リ ス	9,007.61 (6.24)	千英ポンド 7,312 (19)	12,799.91	千英ポンド 7,210
	ス イ ス	—	千スイスフラン —	468.72	千スイスフラン 3,471
	ノ ル ウ ェ ー	1,319.99	千ノルウェークローネ 24,818	1,319.99	千ノルウェークローネ 24,141
	ス ウ ェ ー デ ン	1,799.92	千スウェーデンクローナ 25,515	1,111.9	千スウェーデンクローナ 15,893
	メ キ シ コ	4,964	千メキシコペソ 72,571	—	千メキシコペソ —
国	イ ン ド ネ シ ア	2,085	千インドネシアルピア 1,898,782	49,350	千インドネシアルピア 39,095,765
	ブ ラ ジ ル	28,314	千ブラジルリアル 14,904	—	千ブラジルリアル —

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	韓 国	百株 —	千韓国ウォン —	百株 290.41	千韓国ウォン 1,650,201
	南 ア フ リ カ	—	千南アフリカランド —	104.19	千南アフリカランド 20,753
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	120.57	1,779	1,986.4	3,983
	フ ラ ン ス	1,338.54	5,341	498.19	1,888
	ド イ ツ	2,440.77	4,195	1,760.28	1,328
	ス ペ イ ン	1,947.2	670	15,703.92	4,243
	イ タ リ ア	3,105.19	3,915	4,046.58	4,193

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	24,722,500千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	23,820,849千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.03

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄 (2022年5月11日～2023年5月10日)

銘 柄	買 付			銘 柄	売 付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	千株 49.855	千円 687,754	円 13,795	FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	千株 117.94	千円 1,167,363	円 9,897
EXPERIAN PLC	136.043	610,116	4,484	GLOBAL PAYMENTS INC	57.147	892,581	15,619
PAYONEER GLOBAL INC	785.724	561,318	714	WEX INC	41.284	886,656	21,477
PAYCOM SOFTWARE INC	15.079	557,978	37,003	BANCORP INC/THE	170.23	644,025	3,783
EDENRED	75.101	543,263	7,233	SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	77.649	643,976	8,293
FINECOBANK SPA	264.292	515,591	1,950	NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	1,216.11	636,529	523
MERCADOLIBRE INC	3.953	513,936	130,011	BLACKROCK INC	7.141	632,245	88,537
GRUPO FINANCIERO BANORTE-0	496.4	498,708	1,004	S&P GLOBAL INC	13.235	615,134	46,477
GB GROUP PLC	555.688	420,557	756	TENCENT HOLDINGS LTD	110.5	608,231	5,504
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	17.615	391,298	22,213	BANCO SANTANDER SA	1,570.392	601,064	382

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2022年5月11日～2023年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2022年5月11日～2023年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2023年5月10日現在）

(1) 国内株式

銘柄	前期末	当期末	
	株数	株数	金額
	千株	千株	千円
情報・通信業（100.0%）			
GMOペイメントゲートウェイ	36.6	49.4	528,086
合計	株数・金額 36.6	株数・金額 49.4	金額 528,086
	銘柄数<比率>	1	<2.3%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注2）合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

（注3）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル 千円	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	—	171.67	2,337 315,884	ソフトウェア・サービス
BANCORP INC/THE	1,349.84	—	—	銀行
BLACKLINE INC	352.08	284.52	1,523 205,838	ソフトウェア・サービス
BLACKROCK INC	71.41	—	—	金融サービス
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	427.29	—	—	金融サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	137	129.58	1,683 227,560	ソフトウェア・サービス
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	1,096.49	—	—	金融サービス
FISERV INC	462.53	434.09	5,182 700,428	金融サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	786.44	322.69	3,443 465,422	金融サービス
HDFC BANK LTD-ADR	990.02	645.99	4,262 576,129	銀行
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	—	479.17	5,089 687,814	金融サービス
LUFAX HOLDING LTD	8,817.85	10,725.73	1,726 233,382	金融サービス
MERCADOLIBRE INC	—	31.81	3,970 536,551	一般消費財・サービス流通・小売り
PALO ALTO NETWORKS INC	58.95	210.06	4,113 555,982	ソフトウェア・サービス
PAYCOM SOFTWARE INC	—	150.79	4,052 547,672	ソフトウェア・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	816.14	804.73	5,303 716,777	金融サービス
PAYONEER GLOBAL INC	—	7,857.24	3,975 537,324	金融サービス
Q2 HOLDINGS INC	1,008.8	—	—	ソフトウェア・サービス
S&P GLOBAL INC	208.73	111.71	3,968 536,372	金融サービス

銘柄	株数	株数	期末		業種等		
			株数	株数		評価額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円			
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	1,286.59	529.01	3,194	431,691	金融サービス		
BLOCK INC-A	222.41	—	—	—	ソフトウェア・サービス		
SYNCHRONY FINANCIAL	1,756.65	689	1,891	255,702	金融サービス		
VISA INC.	493.34	317.44	7,404	1,000,732	金融サービス		
WEX INC	587.19	226.68	3,998	540,446	金融サービス		
WORKIVA INC	147.08	325.4	2,891	390,830	ソフトウェア・サービス		
ZSCALER INC	195.03	184.48	2,030	274,369	ソフトウェア・サービス		
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	3,092.08	3,863.8	4,323	584,333	金融サービス		
STONECO LTD-A	3,420.79	3,401.69	4,578	618,807	金融サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	27,784.73 23	31,897.28 22	80,947 —	10,940,055 <47.5%>		
(香港)			千香港ドル				
JD.COM INC - CL A	60.28	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り		
TENCENT HOLDINGS LTD	1,105	—	—	—	メディア・娯楽		
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H	7,254	5,385	13,920	239,984	保険		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,419.28 3	5,385 1	13,920 —	239,984 <1.0%>		
(シンガポール)			千シンガポールドル				
DBS GROUP HOLDINGS LTD	1,740	1,446	4,583	466,999	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,740 1	1,446 1	4,583 —	466,999 <2.0%>		
(イギリス)			千英ポンド				
GB GROUP PLC	—	5,383.81	1,680	286,832	ソフトウェア・サービス		
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	988.91	645.32	5,407	922,837	金融サービス		
EXPERIAN PLC	561.45	1,871.58	5,068	864,894	商業サービス・用品		
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	24,216.57	14,080.16	5,339	911,133	金融サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	25,766.93 3	21,980.87 4	17,496 —	2,985,699 <13.0%>		
(スイス)			千スイスフラン				
TEMENOS GROUP AG-REG	468.72	—	—	—	ソフトウェア・サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	468.72 1	— —	— —	— <—>		
(スウェーデン)			千スウェーデン クローナ				
NORDNET AB PUBL	1,456.54	2,144.56	32,940	436,790	金融サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,456.54 1	2,144.56 1	32,940 —	436,790 <1.9%>		
(メキシコ)			千メキシコペソ				
GRUPO FINANCIERO BANORTE-0	—	4,964	78,212	595,527	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	4,964 1	78,212 —	595,527 <2.6%>		
(インドネシア)			千インドネシア ルピア				
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	105,607	58,342	52,070,235	479,046	銀行		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	105,607 1	58,342 1	52,070,235 —	479,046 <2.1%>		

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル)				千ブラジルレアル	千円	
CIELO SA		百株 —	百株 28,314	16,167	438,182	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	— —	28,314 1	16,167 —	438,182 <1.9%>	
(韓国)				千韓国ウォン		
KAKAO CORP		290.41	—	—	—	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	290.41 1	— —	— —	— <—>	
(南アフリカ)				千南アフリカ ランド		
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		295.78	191.59	30,654	222,244	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	295.78 1	191.59 1	30,654 —	222,244 <1.0%>	
(オランダ)				千ユーロ		
ADYEN NV		17.68	16.08	2,275	337,270	金融サービス
ING GROEP NV-CVA		4,906.5	3,042.27	3,401	504,258	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	4,924.18 2	3,058.35 2	5,677 —	841,529 <3.7%>	
(フランス)				千ユーロ		
SOCIETE GENERALE-A		1,395.77	1,772.32	3,838	569,032	銀行
EDENRED		—	751.01	4,421	655,465	金融サービス
WORLDDLINE SA		1,243.12	955.91	3,819	566,211	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	2,638.89 2	3,479.24 3	12,080 —	1,790,708 <7.8%>	
(ドイツ)				千ユーロ		
HYPOPORT SE		83.17	194.1	2,707	401,361	金融サービス
FLATEXDEGIRO AG		1,049.81	1,619.37	1,546	229,285	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	1,132.98 2	1,813.47 2	4,254 —	630,647 <2.7%>	
(スペイン)				千ユーロ		
BANCO SANTANDER SA		23,900.21	10,143.49	3,230	478,886	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	23,900.21 1	10,143.49 1	3,230 —	478,886 <2.1%>	
(イタリア)				千ユーロ		
NEXI SPA		7,450.33	5,069	3,803	563,833	金融サービス
FINECOBANK SPA		2,217.51	3,657.45	4,637	687,438	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	9,667.84 2	8,726.45 2	8,441 —	1,251,272 <5.4%>	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	42,264.1 9	27,221 10	33,684 —	4,993,044 <21.7%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	214,093.49 44	181,886.3 43	— —	21,797,574 <94.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 22,325,660	% 96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	726,176	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	23,051,837	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(22,265,351千円)の投資信託財産総額(23,051,837千円)に対する比率は、96.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=135.15円、1香港ドル=17.24円、1シンガポールドル=101.88円、1英ポンド=170.65円、1スウェーデンクローナ=13.26円、1メキシコペソ=7.614円、100インドネシアルピア=0.92円、1ブラジルレアル=27.103円、1南アフリカランド=7.25円、1ユーロ=148.23円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	23,051,837,346円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	705,172,015
株 式(評価額)	22,325,660,728
未 収 配 当 金	21,004,603
(B) 負 債	19,079
そ の 他 未 払 費 用	19,079
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	23,051,818,267
元 本	16,781,203,250
次 期 繰 越 損 益 金	6,270,615,017
(D) 受 益 権 総 口 数	16,781,203,250口
1万口当り基準価額(C/D)	13,737円

1. 期首元本額	21,214,427,223円
期中追加設定元本額	126,994,206円
期中一部解約元本額	4,560,218,179円
2. 1口当たりの純資産額	1,3737円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替なし)	15,166,905,283円
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替あり)	1,614,297,967円
期末元本合計	16,781,203,250円

■損益の状況

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	337,152,481円
受 取 配 当 金	319,107,120
受 取 利 息	18,260,653
支 払 利 息	△ 215,292
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,109,494,905
売 買 益	5,036,434,640
売 買 損	△2,926,939,735
(C) そ の 他 費 用	△ 12,701,963
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	2,433,945,423
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,321,445,621
(F) 解 約 差 損 益 金	△1,517,781,821
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	33,005,794
(H) 計 (D+E+F+G)	6,270,615,017
次 期 繰 越 損 益 金(H)	6,270,615,017

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。